

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 24 日 (2014.7.24)

【公開番号】特開 2012-1206 (P2012-1206A)

【公開日】平成 24 年 1 月 5 日 (2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-001

【出願番号】特願 2011-130298 (P2011-130298)

【国際特許分類】

B 6 0 C 9/18 (2006.01)

B 6 0 C 9/20 (2006.01)

B 6 0 C 9/22 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 9/18 K

B 6 0 C 9/20 B

B 6 0 C 9/22 G

B 6 0 C 9/20 D

B 6 0 C 9/18 H

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 10 日 (2014.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

カーカスとベルト補強構造とを有する空気入りタイヤであって、

前記ベルト補強構造は、中央円周面に対して 5 度以下の角度に配置されている複数のコードをそれぞれ有する第 1、第 2、および第 3 のベルト層であって、前記第 2 のベルト層は前記第 1 のベルト層の半径方向内側に位置しており前記第 1 のベルト層よりも狭い幅を有し、前記第 3 のベルト層は前記第 2 のベルト層の半径方向内側に位置しており前記第 2 のベルト層よりも広い幅を有している、第 1、第 2、および第 3 のベルト層と、前記第 1 のベルト層の半径方向外側に位置しているジグザグのベルト補強構造と、を有し、

前記ジグザグのベルト補強構造は、複数のコードからなる 2 つの層を構成しており、前記複数のコードは、タイヤの中央面に対して 5 ~ 30 度だけ傾いており、交互に各側縁の方向転換点まで延びており、

前記第 1、第 2、および第 3 のベルト層のうちの 1 つは、前記ジグザグのベルト補強構造よりも広い

ことを特徴とする空気入りタイヤ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 12】

前記ジグザグのベルト補強構造は第 1 のジグザグのベルト補強構造と第 2 のジグザグのベルト補強構造とを含み、前記第 2 のジグザグのベルト補強構造は、前記第 1 のジグザグのベルト補強構造の半径方向外側に位置しており、前記第 1 のジグザグのベルト補強構造よりも狭い幅を有する、請求項 10 に記載の空気入りタイヤ。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

ラジアルカーカスプライコード繊維はナイロンである、請求項 1 0 に記載の空気入りタイヤ。